

## 3年 干し芋パッケージデザイン

### 原宿外苑干し芋とは

本校では、美術と総合的な学習の時間を活用し、お菓子メーカーの株式会社社関と連携した授業を行いました。原宿外苑中学校の生徒が育てたサツマイモを干し芋に加工し、商品化するというプロジェクトです。この干し芋を販売するにあたり、パッケージデザインを生徒自身が考案しました。

### 1 単元(題材)の目標

【知識】パッケージデザインの色彩、画材などの性質が感情にもたらす効果などを理解すること。

【技能】画材や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。

【思・判・表】伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会などの関わりなどから主題を生み出し伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。

【鑑賞】商品のパッケージデザインの表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。

【学びに向かう力、人間性等】

パッケージデザインの持つ効果について理解を深め、感じたことや気づいたことをクラスメイトと共有しながら、よりよい表現方法を探究することができる。



## 2 単元(題材)の指導計画と評価計画(全 5時間)

時	主な学習活動	三観点(評価方法)
第1時	<p>【美術の授業 調べ学習】</p> <p>身近なお菓子を2つ調べ、それぞれのパッケージデザインに書かれている内容などを比較し、気づいたことをワークシートにまとめる。その後、班員とワークシートに書いたことを共有する。</p>	<p>【知】ワークシート①</p> <p>【思判表】ワークシート①</p> <p>【主体的】ふりかえりシート</p>
第2時	<p>【美術の授業にて特別授業 導入】</p> <p>壮関の社員の方が壮関の概要や干し芋について説明する。</p> <p>実際に生徒が干し芋を食べてみて、感じたことをワークシートにメモし、班員と共有する。</p>	<p>【思判表】ワークシート②</p>
第3,4 時	<p>【総合的な学習の時間 デザインを描き進める】</p> <p>ワークシートにデザインを描き、色鉛筆やマーカーなどで色をぬる。終わらなかった生徒は、宿題になる。</p>	
第 5 時	<p>【美術の授業 鑑賞会】</p> <p>干し芋のパッケージデザインを描いてみて、作品への思いや、工夫したことを Forms で回答する。</p> <p>班員に自分のパッケージデザインを発表し、説明をする。</p> <p>その後クラス全体のパッケージデザインを鑑賞し、クラスでよいと思った作品を2人 Forms で投票する。</p> <p>→投票数上位がパッケージデザインの候補となる。</p> <p>ふりかえりシートに干し芋のパッケージデザインを描いてみて学んだことなどをふりかえりシートに記入。</p>	<p>【思判表】Forms 回答</p> <p>ワークシート②</p> <p>【技能】 ワークシート②</p> <p>【主体的】ふりかえりシート</p>

## 3 目標を達成させるための工夫・手立て

いきなり干し芋のパッケージデザインを考えることは難しそうなので、まずは調べ学習をして消費者目線でパッケージデザインを見ることを意識させる。

また調べ学習のときや干し芋を食べたときに班員と意見の共有をさせることで、生徒同士の関わりの中から気づきや、発想が生まれるようにする。

## 【配布したワークシート】

# 干し芋のおいしさを伝えよう！

干し芋を知る

( 個別 )



考える

( 意見の共有・対話 )

STEP1 干し芋を知る。メモ欄

STEP2 STEP1のメモで書いたことを班の人と共有しよう。班の人の意見をメモしよう。

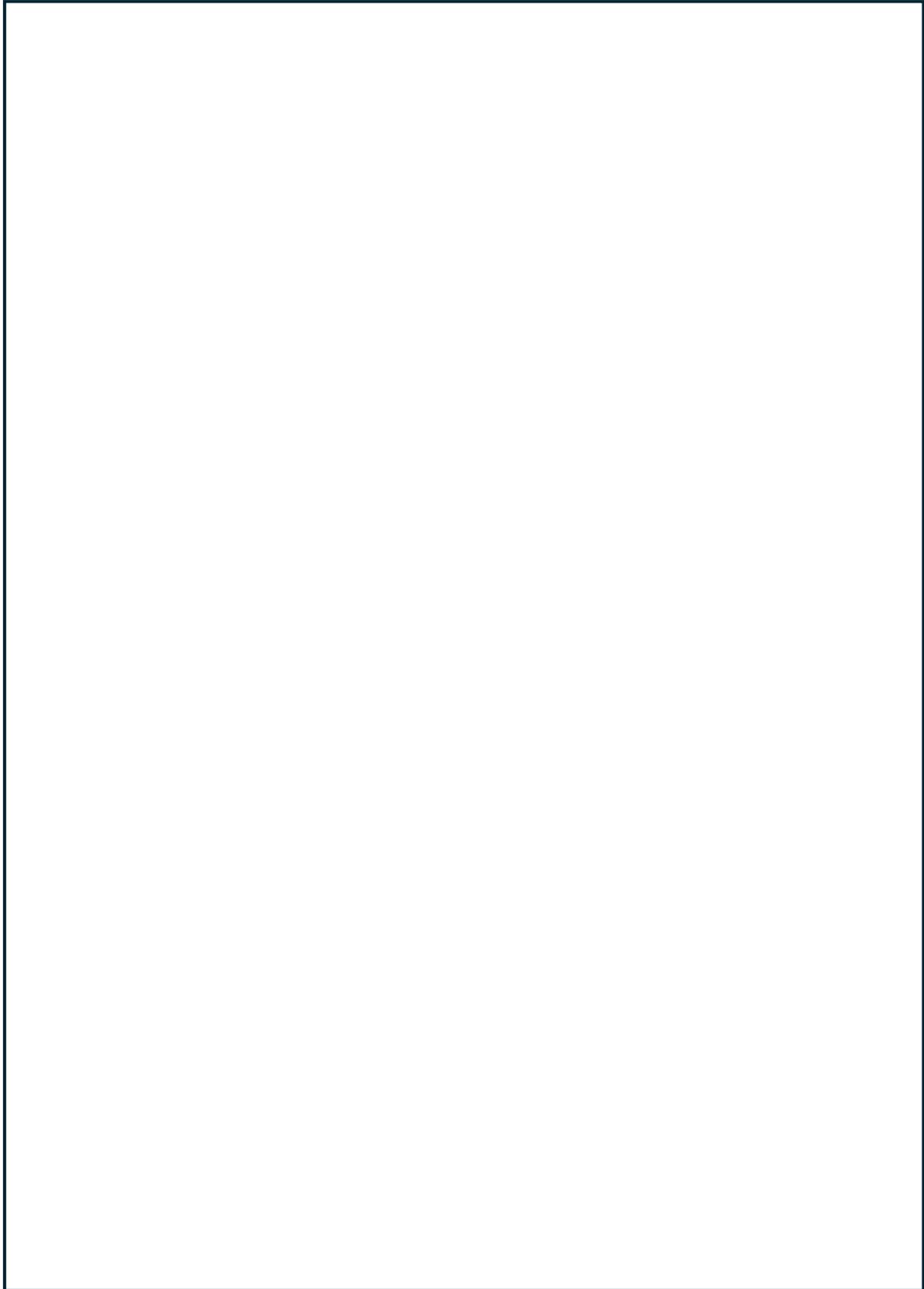
STEP3 お客様のことを考えて、どのようなパッケージデザインにするのか決めましょう。

干し芋の味をどう表現する？	
どんなお客さんに干し芋を伝えたい？	
どんな場面で食べてもらいたい？	

**STEP4** パッケージデザインを自由な発想で書いてみよう。商品名も含め考えましょう。

★必ず入れる単語

①原宿外苑    ②干し芋    ③紅はるか



3年    組    番    名前